



# はなもみじ



屋代  
小学校  
春秋ご  
とに句うなり

## 実りの秋

～ 学校生活の中で、子どもたちの成長した姿がいっぱい！！ ～

### 5年生が稲刈り（10月7日）

一部ぬかるむ田んぼに入り、稲刈り。例年よりもずっしりと手ごたえのある稲を刈り取り、束ねていきます。田植えや稲刈りは機械での作業が中心であり、家が農家であってもなかなか経験できません。同じ作業を丁寧に長時間続けることは、とても大変なこと。しかし、その代償として、収穫ができ、大きな喜びを感じました。はげかけまで無事済み、働くことの尊さを知った半日の作業でした。次は、脱穀体験です。



子どもも先生も泥と汗にまみれ



チームの絆がたすきをつないだ

### 小学生駅伝競争大会入賞（10月11日）

更埴小学校が9チーム参加した大会に、2チームが出場。1人 1.5 kmの周回を6人でタスキをつなぎます。成績は、Aチーム2位、Bチーム5位と大健闘。毎朝の練習を続けてきたこと、チームのために全力を出し切ったこと、補欠選手もコースで応援し後押しをしたことが結果につながったと思います。マラソンに出場した3名も力走でした。これから11月の校内マラソン大会に向け、全校で体力作りに取り組みます。

### 3年生が秋の遠足（10月13日）

秋晴れの1日、姨捨駅まで電車で出かけました。姨捨サービスエリアまで登り、千曲市を大展望。整備された棚田を見てお弁当。長楽寺、齊森神社等に立ち寄りながら、学校まで歩いて帰りました。1年たつごとに集団行動がしっかりとできるようになり、弱音を吐かず歩くことができるようになった子どもたち、心身の成長が感じられました。この学級の仲間と過ごすのもあと半年。先生、友達と楽しい思い出を！



サービスエリアでスケッチ



全校の心をそろえて大合唱

### 音楽会に向けて全校音楽（10月14日）

28日あんずホールでの発表に向け、練習に熱が入っています。この日も美しい歌声が体育館に響きました。テーマは「響き合おう 伝えよう」。昨年以上に演奏する者も鑑賞する者も心から音楽を楽しめるステージを目指しています。聴き栄えを考えると、楽曲は難しくなりがち。家庭に楽器を持ち帰って練習するときは、お子さんと一緒に譜面に向かっていただき、自信をもって演奏できるよう、是非ご協力ください。

に続き、「ことば」の大切さとその裏にある思いについて述べます。  
次の詩は、テレビやラジオのCMで、流れていた金子みすずさんの詩です。



## 温かな言葉を大切に



「こだまでしょうか」

金子みすず

「遊ぼう」というと  
「遊ぼう」という。



「ばか」というと  
「ばか」という。

「もう遊ばない」というと  
「遊ばない」という。



そうして、あとで  
さみしくなって、

「ごめんね」というと  
「ごめんね」という。

こだまでしょうか、  
いいえ、だれでも。

「疲れた」 「まだまだ、疲れてない」  
「がんばった」 「まだまだ、がんばり足りない」  
「つらくてたまらない」 「そのくらいがまんしろ」

自分の気持ちと反対が返ってくると、さみしいものです。

特に、発達障害がある場合、努力してもどうしようもないことが、数多くあります。しかし、それをわかってもらえないことから、心を閉ざしてしまったり、相手を信頼できなくなったりすることも少なくはありません。

自分の感情をぶつける前に、相手の気持ちをしっかりと受け止め、もう一度それを自分自身に置き換えて考えてみる。そうすると、相手に返す言葉も変わってくるように思えるのです。

たった一言で、人は傷つく。たった一言で、人は微笑む。自分がやさしく話しかければ、きっと相手も、おだやかに答えを返してくれる。ことばは、人から人へ「こだま」します。人と人のやさしい会話のきっかけになることを願ってつくられたACジャパンのCMだそうです。

こだまは、自分の言葉（気持ち）と同じことを返してきます。それは、自分のことをもう一度見返させる力かもしれません。ときには、自分の言ったことはひどいことだったと教えてくれる。ときには、その通りだねと励ましてくれる。それによって、自分自身が正しいかどうか気づいていかれることもあります。

子どもの言葉に、私たちの言葉はこだまのように温かく響いているでしょうか。

